

連載特集

在学時代の思い出

《第2回：電気科編》

遠藤 久志

(昭和43年電気科卒)



本稿の執筆を依頼された時、50年前のことでもあり、思い出は遠い彼方へ飛んでいっており、大変困りました。何とか記憶を取り戻そうと4月下旬、新宿・音羽亭で電気科同級生のS君、T君と3人で思い出を語り合いました。間違っって記憶していたこともあるかも知れませんがご容赦願います。

私は昭和40年4月電気科に入学しました。13歳上の次兄(昭和30年工業化学科卒)が秋工OBでしたので私も迷うことなく秋工に進学しました。前年昭和39年に東京オリンピック開催、それに合わせて東海道新幹線が開業するなど日本の高度経済成長期の真っただ中でした。



通学した校舎

【校歌・応援歌の練習】

入学してまもなく、新入生全員が昼休み、グラウンドに集められ、校歌・応援歌の練習が1週間近く行われました。先輩方のつきっきりの厳しい指導のおかげで何とか覚えることができました。今では非常に感謝しております。応援歌の中では特に踊りも入る秋工音頭が大好きです。

以下校歌・応援歌の小節をご紹介します。

- ・校歌 太平山の凜たる雄姿・・・
- ・副歌 天地の精気金沙がに・・・
- ・金沙健児 風しようじょうと雲を呼ぶ・・・
- ・秋工健児 我が頼もしき選手等よ・・・
- ・中春の光 中春の光空に満つ・・・
- ・出陣の歌 時は来たれり我が選手・・・
- ・必勝の歌 赤き血潮の丈夫よ・・・
- ・凱歌 戦雲すでおさまりて・・・
- ・ラグビーの歌 白凱々の雪にて・・・
- ・秋工音頭 山は太平流れは旭・・・

【校長先生】

昭和40年4月1日から横谷永太郎氏が第13代校長に就任しました。黒縁眼鏡をかけたとても温厚な先生でした。



横谷校長先生

【専門教科の先生方】

- ・西巻逸平先生：電気科長。
- ・桜田高庸先生：電気理論を教わりました。バレー部の顧問。1年から3年までずっと学級担任で大変お世話になりました。同級生S君は卒業式が済んだ月末に、担任の先生の自宅に就職のため 離郷の挨拶で訪問したら、先生からお酒を飲ませて頂いたとのことでした。ある時、先生は我々に「高校生だから酒を飲むのはやめろ」と指導されました。後日、ある生徒のご両親から正月、お盆と祭りの時だけはつきあい(御神酒?)だから、飲ませてほしいと申し出があったとのことでした。田舎では特に長男は家を継ぐ人で親戚・地域ともつきあいが必要なため、このような話になったと思います。古きよき時代でした。
- ・北嶋國夫先生：レスリングの顧問。同郷(南秋田郡井川町)で卒業後、一升瓶をさげて近況報告に行ったことがありました。
- ・佐藤(温)先生、五十嵐先生、加藤先生にも教わりました。
- ・長浜谷先生・佐川先生：実習担当でした。特に先生方には実習時の服装、左胸の名札着用を厳しく指導されました。卒業後、総合電機会社に就職、工場に配属されました。会社は作業時の規律、服装に厳しく、その時の指導に改めて感謝いたしました。



電気科の先生

【一般教科の先生方】

- ・高桑栄一先生：保健体育担当でした。ラグビー部の部長。秋の運動会では教職員のリレーに出場されていました。非常に足が速かったことを記憶しています。
- ・小助川先生：保健体育担当でした。鬼の小助川と恐れられ、非常に厳しい先生でした。ある体育授業時、横一列に整列し、「右向け右」で一斉に右を向いて整列することがありましたが、私は左前方の入口に気をとられ、一人だけ左を向いて、先生に叱責されました。また、保健授業の時、生徒に朝いつ歯を磨くか質問しました。ほとんどの生徒は朝起きてから磨くと答えました。先生は朝食後に磨くのが正しいと言われました。今現在では睡眠中の口内細菌除去のため、起きてすぐ磨くのと朝食後にも磨くのが常識となっています。今思えば、当時の生徒の答えはあながち間違っていなかったのかな・・・。
- ・佐藤修一先生：数学の担当でした。吹奏楽部の顧問。
- ・斉藤先生：国語・古典の担当でした。あだ名はエイトマン。由来は不明。冬になると他の先生方、生徒と一緒にスキーに行くスポーツマンでした。
- ・美術の先生：1年時、美術の教科がありました。自画像の宿題があり、1晩で画いて提出した所、画才がないのは元よりですが、先生にこれは小学生のレベルだと失笑されました。

100人の物語

首都圏在住秋田人

100人の物語

汗と笑いと涙の人生 首都圏で暮らす秋田人 一〇〇人の生き様がここに

序章・そして今：より

秋田を離れもう何年経つだろう ふるさとへの思いは尽きないが こちらでの生活がずっと長く なつた とにかく、無我夢中で生きてきた

A5版 本文292頁(巻頭カラー10頁) 企画・出版：秋田ひえばなの会(代表：田村 輝夫) 定価：[本体1,800円+税] 編集・制作：秋田ひえばなの会 ISBN978-4-9909850-0-4 首都圏在住秋田人一〇〇人の物語 出版委員会

購読ご希望の方は下記販売事務局へ直接ご注文、又は 船木(S48M)までお問い合わせください。 *販売事務局 TEL.042-444-0351 ※残り部数少なくなりました。 担当：藤原和弘 FAX.042-444-4425 お求めはお早めに！ E-mail kz.fujiwara@nifty.ne.jp 船木 一美 携帯.090-3049-7291 E-mail kf-works@sea.plala.or.jp

首都圏在住秋田人一〇〇人の物語

平成29年11月の出版以来、秋田魁他県内外の新聞、NHK首都圏ネットワーク(TV)他多くのメディアで取上げていただき、大きな話題となった「文集」です。

A5版 本文292頁(巻頭カラー10頁) 企画・出版：秋田ひえばなの会(代表：田村 輝夫)
定価：[本体1,800円+税] 編集・制作：秋田ひえばなの会
ISBN978-4-9909850-0-4 首都圏在住秋田人一〇〇人の物語 出版委員会

購読ご希望の方は下記販売事務局へ直接ご注文、又は 船木(S48M)までお問い合わせください。
*販売事務局 TEL.042-444-0351 ※残り部数少なくなりました。
担当：藤原和弘 FAX.042-444-4425 お求めはお早めに！
E-mail kz.fujiwara@nifty.ne.jp
船木 一美 携帯.090-3049-7291 E-mail kf-works@sea.plala.or.jp

「ひえばなの会」
Circle of AKITA-HEBANA